

令和 7 年 10 月 8 日

議会議長 鈴木 晴範 様

総務建設委員会
委員長 兵藤 慎一

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第 77 条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和 7 年 7 月 25 日（金）午前 9 時 00 分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席
- 3 調査事項

(1) 下水道施設の修繕、改築について

昭和 60 年に供用を開始した全長約 120km の污水管渠及び約 5,000 基のマンホールを適切に維持管理していくため、「函南町公共下水道ストックマネジメント計画」を基に行われる修繕、改築の方向性及び令和 9 年度以降の污水管維持管理、改築に係る国費支援を受けるために導入が必要な WPPP（Water Public Private Partnership）について説明を受けた。

函南町単独での WPPP は受注者側にとってスケールメリットが小さいため、より広域的な枠組みでの導入の検討が求められる状況となっている中、県主導による狩野川流域 5 市 3 町の「狩野川流域下水道 WPPP」の導入可能性が不透明である等の課題や導入することによるメリット、デメリットについて確認をした。

町内において老朽化が進んでいる管渠やマンホール蓋が点在しているので、導入可能性を精査し、的確な対応に努められたい。

(2) 畜産の現状について

畜産業におけるこれまでの変遷、高齢化・後継者不足等の課題、今年の 11 月に開催される畜産共進会第 100 回記念大会の概要について説明を受けた。

高齢化や後継者不足が深刻化する中で就農者を確保するため、外国人労働者等の受け入れ環境の整備、補助金の活用状況等について確認をした。

畜産共進会を含め、町内外の各種団体と連携を図り、畜産の魅力発信等の施策が実施されるよう期待したい。

(3) 消防団第 1 分団詰所について（現地視察）

消防団第 1 分団詰所建替工事が完了したことから完成状況について現地視察を行った。

現地では消防ポンプ車、備品等の格納状況や 2 階の消防団員の打合せ、休憩スペース及び詰所西側ホースタワーの設置状況を視察し、消防団員の活動環境が整備されていることを確認した。

町民の生命、財産を守るため消防力の向上が図られるよう引続き環境整備に努められたい。

(4) 新田排水機場の現状について（現地視察）

新田排水機場は、受益地 49ha に及ぶ範囲の湛水被害を防ぐため昭和 52 年に整備され、平成 3 年に増設、平成 30 年に増設と更新が行われている。

現地では排水ポンプや操作盤、非常用発電設備の確認に加え、操作方法の流れも確認した。

激甚化、頻発化する大雨時に、確実に施設が稼働するように、日頃から適切な維持管理に努められたい。